

## 第4学年社会科学学習指導案

単元名 昔から伝えられるもの

小単元名 博多にわか～300年受け継がれてきた博多の宝～（12時間）

### 1 子ども達は

○ 本学年の子どもは、「水とわたしたち」「ごみとわたしたち」において、自分たちのくらしは多くの人々の関わりの中で支えられていることや、〇〇校區をはじめ福岡市は、多くの人の手によって生活が成り立ってきていることを学習してきた。

特に「ごみとわたしたち」の学習では、自分の課題解決に必要な資料を収集したり、これからの福岡市のごみ処理や自分の行いについての意見交流を行ったりすることができるようになってきている。

さらに、自分たちにできることは何かを考え、節水やリサイクルを推進するなど、学んだことをこれからの生活の中で実践していくことの大事さを理解している。

○ 本学年の子どもは、社会事象に関わる人や友達と交流したことをもとに、自分の生活につなげて考えることができている。しかし、自分や地域社会の生活をさらに向上させていこうとする意欲や態度が十分高まっているとはいえない。

また、交流活動において、社会事象に関わる人の声や友達の考えのよさを取り入れることで、自分の考えを広げたり、深めたりする子どもの姿はあまりみられない。

本小単元の学習を通して、自分の周りの人や地域に主体的に関わり、交流する中で、社会事象に関わる人の声や友達の考えのよさを取り入れ、自分の見方や考え方を広げたり深めたりすることができるようになってほしいと考える。そして、学んだことを活かして、主体的に地域社会に働きかけることができるようになってほしいと考える。

### 2 教材は

博多に伝わる郷土芸能である博多にわかを教材として取り上げることは、次のような価値がある。

○ 博多にわかには、福岡の町に脈々と受け継がれてきた文化として私たちにもなじみがある。煎餅のテレビCMやお面でも知名度も高い。本校でもクラブ活動の中に「博多にわかクラブ」がつくられ、博多にわか振興会からゲストティーチャーを招き、指導をいただいている。

昔は全国の各地で「にわか」は行われていたが、今ではほとんどの「にわか」が途絶えているという。博多にわか300年以上も前に生まれ、長い間途絶えずに現在に受け継がれてきたことは、子ども達にとっても驚きであり、意欲的に学習を進めることが期待できる。

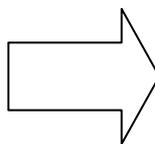
（感動性）

○ 博多にわか振興会の〇〇さんは、博多にわかを伝承していきたいという強い思いを持たれている方である。子どもたちが博多にわかを知ることでこれからの将来に向けて、にわかへの広がりへの期待ももち、クラブ活動の指導も行ってくださっている。

多くの人に博多にわかを知って欲しいという思いが大きいことから、〇〇さん自ら子どもたちにも積極的に関わっていただける。また、博多にわかには、子どもたちも好きなお笑い芸の一つであり、一人にわかや文字にわかには、一人でも楽しみながら続けていける。

今後、クラブ活動等を通して博多にわかへの大会に出場するなど、継続して活動していただける文化の一つである。これらのことから、地域に残る伝統文化に誇りと愛着を持ち、博多にわかを大切にしていこうとする態度を育てる上で有効であると考えられる。

（双方向性）



### 3 交流活動の工夫は

本小単元では、次のような交渉する力を育んでいく。

こんな交渉する力を身に付ける	
【であう段階】	○ 博多にわか が 300年 も受け継がれてきたわけの予想を出し合い、友達と自分の考えの共通点や差異点を見出すことができる。
【はたらきかける段階】	○ 博多にわか 振興会の○○さんを通して、社会事象に積極的にはたらきかけ、自分の考えをつくり、根拠をもとに正確に伝えることができる。
【たかめる段階】	○ 博多にわか を受け継いでいくために私たちにできることを話し合い、友達の考えのよさを取り入れ、自分の考えに生かすことができる。

このような交渉する力を育むために、次のような場を設定し、次のような学習材を使って交流活動を工夫していく。

場	学習材
【であう段階】	
○ 煎餅やお面、映像資料から博多にわかを知る場	○ 煎餅とお面、博多にわかをしている映像資料
○ 博多にわか のあゆみの表を読み取る場	○ 博多にわか のあゆみの表
○ 自分と友達の考えを比較し、追究の視点を見出す場	○ 学習プリント
【はたらきかける段階】	
○ 自分に必要な事実を収集する場	○ 博多にわかに関する資料
○ 同じ考えのグループで考えを検討する場	○ 学習プリント
○ 自分の考えを正確に伝える場	○ 学習プリントと事実を書いたカード
【たかめる段階】	
○ 自分と友達の考えを比較し、友達の考えのよさを取り入れる場	○ 学習プリントと事実を書いたカード
○ これまでの学習を振り返る場	○ これまでの学習の掲示物とポートフォリオ

### 4 めざす子ども子ども姿は

○ 博多にわか の伝統やそれを守り受け継いでいる人々に関心を持ち、博多にわか やそれにかかわる人・もの・ことを意欲的に調べ、これからも大事にしていこうとすることができる。	【関心・意欲・態度】
○ 博多にわか が現在まで長い間続けられてきたわけと、それを支えてきた人々の願いや努力を、関連づけて考えることができる。	【思考・判断】
○ 博多にわか を長い間続けてきたわけと、それを支えてきた人々の博多にわか を未来に伝えていきたいという願いや努力について、資料から読み取ったり、インタビューして聞き取ったりして自分の考えを表現物にまとめ、友達に伝えたり、友達の考えのよさを取り入れたりすることができる。	【観察・資料活用の技能・表現】
○ 博多にわか をはじめとする地域の人々が受け継いできた文化財に込められた人々の願いについて理解することができる。	【知識・理解】

5 学習計画（12時間）

段階	学習活動と主な内容	※教師の支援	配時
<p>であう</p> <p>／はたらきかける</p> <p>／たかめる</p>	<p>1 博多にわかと出会い、学習問題1をつくる。            (1) 煎餅とお面、映像資料を見て分かること、気付いたことを出し合う。                ○お面を付けてにわかをしていること            (2) 博多にわかあゆみの表をもとに、分かること、気付いたことを話し合い、学習問題1をつくる。            学習問題1 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">どうして博多にわか300年以上も受け継がれてきたのだろうか。</span></p> <p>2 学習問題の予想を出し合い、追究の計画を立てる。            ○博多にわかとは何か ○これまでの人々の思い</p> <p>3 追究計画に沿って、自分の考えに必要な事実を集め、考えを表現物にまとめる。            (1) 自分の考えに必要な資料を集め、考えを構成する。                ○博多にわか自作資料 ○インターネットで検索                ○博多にわか振興会の方にインタビュー            (2) 同じ視点の友達と中間交流を行い、自分の考えを付加・修正し、考えを再構成する。</p> <p>4 学習問題1について調べたことをもとに、どうして博多にわか300年も受け継がれてきたのか話し合い、新たな課題意識をもつ。            (1) 学習問題1について調べたことをもとに、どうして博多にわか350年も受け継がれてきたのか話し合う。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博多にわかには、人々に親しまれた楽しい芸能であった。みんなが楽しむことができるように、振興会をつくって博多にわかを広めたり、祭りの舞台で博多にわかをして、人々を楽しませたりしてきたから、今も受け継がれているんだ。</span></p> <p>5 博多にわか振興会の方の思いや悩みと出会い、学習問題2を作り考えを表現物にまとめる。            学習問題2 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">私たちは、博多にわかを続けていくためにはどのようにしていけばよいのだろう。</span>  <b>【予想されるこどもの考え】</b>            ○博多にわかを多くの人に知ってもらうためにイベントを開いたり、宣伝をしたらいいと思う。            ○博多にわかをする人を増やすために、にわか教室を開いて博多にわかを教えていったらいいと思う。</p> <p>6 私たちは博多にわかをどうしていけばよいのか話し合う。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">博多にわかをこれからも続けていくためには、宣伝したり、教室を開いて教えたりすることで多くの人に知ってもらうことが大切だ。これから、自分も博多にわかを楽しんで、大切にしていきたいな。</span></p> <p>7 学習のまとめをする。</p>	<p>※ 博多にわかと〇〇校区のつながりに気付かせるために、〇〇小学校の博多にわかクラブの様子をビデオで提示し、知らせる。</p> <p>※ 博多にわか300年以上も受け継がれてきたことに気付かせるために、博多にわかあゆみの表を提示し、話し合わせる。</p> <p>※ 自分と友達の共通点・差異点を認識させるために、人・もの・ことの観点で板書し、整理していく。</p> <p>※ 自分と友達の考えを比べて、付加・修正できるように、同じ視点のグループで交流し、根拠の妥当性を検討させる。</p> <p>※ 学習問題の答えにつながるように、根拠カードを黒板に掲示しながら、考えを整理していく。</p> <p>※ 新たな課題意識をもたせるために、博多にわか振興会の〇〇さんにお話をさせていただき、私たちは、博多にわかをどのようにしていけばよいのだろう。という学習問題2をつくる。</p> <p>※ これまでの学習を振り返り、博多にわかを受け継いでいくために実際にできそうなことを考えさせる。</p>	<p>2 ①</p> <p>①</p> <p>1 本時 ④ ③</p> <p>①</p> <p>1 本時 ④</p> <p>2</p> <p>1 本時 ④</p> <p>1</p>

6 本時 「学習問題に対する予想を交流し，追究の視点をつくる場面」（3 / 1 2）

指導者 ○○ ○○ 場 所 4年○組教室

7 本時の目標

- 博多にわかをあゆみの表等の資料をもとに，学習問題の答えの予想について話し合うことができる。
- 生活経験や学習経験を根拠に予想について話し合い，共通点や差異点に着目して追究の視点をつくることができる。

8 本時展開

学習活動と内容（○内容 ※具体的な支援・留意点）

1 本時のめあてを確認し，前時までの自分の学習したことをふりかえる。

(1) 本時のめあてを確認する。

めあて

学習問題1の答えの予想について根拠を持って話し合い，調べる計画を立てよう。

(2) 前時までの学習プリントを見直し，自分の考えと根拠となる事実を確かめる。

2 学習問題1の答えの予想について話し合う。

(1) 生活経験や学習経験を根拠に予想を話し合う。

考え

根拠

- にわか楽しいから続いた。 → ○DVDの姿がみんな楽しそうに笑っていた。
- にわかを残したいという人がいたから。 → ○無形文化財の指定。博多にわか振興会の設立。

※ 根拠をもとに話し合わせるために，机上や教室に資料を準備しておく。

(2) 予想を集約しながら追究の視点を練り上げる。

調べる視点

- 博多にわかとは何か。 ○これまでの人々の取り組み。

調べる方法

- 博多にわかをしている人にインタビュー
- インターネット ○博多にわか資料

※ 板書に書かれた子どもの言葉を使って2つの視点を作るようにする。

学習材：博多にわかをあゆみの表  
学習プリント

場：自分と友達のことを比較し，追究の視点をつくる場

○資料・・・博多にわか300年以上も続いていることに視覚的に気付くことができるように，博多にわかあゆみの表を提示する。また，ただ続いているだけではなく，厳しい取り締まりがあっても関わらず，現在まで続いていることに気付かせるために，厳しい取り締まりの表記を強調して提示する。

○活動・・・博多にわかあゆみの表やDVDなどの資料をもとに，学習問題1の答えについての予想を交流する。その後，話し合われた言葉を整理し，追究の視点を作っていく。

3 今日の学習を振り返り，学習前の自分と学習後の自分を比べて変わったところと，次時のめあてを書く。

- 博多にわかなぜ300年以上も続いているのか，早速家の人に聞いてみたいです。

7 本時の目標

- 博多にわかが300年以上も続けられてきたわけと、それを支えてきた人々の願いや思い、努力を関連づけて考えることができる。
- 調べた事実をもとに発言し、共通点や差異点に気付くとともに、友達の考えの良さを取り入れ、よりよい考えをつくらうとすることができる。

8 本時展開

学習活動と内容 (○内容 ※具体的な支援・留意点)

1 本時のめあてを確認し、前時までの自分の学習したことを振り返る。

(1) 本時のめあてを確認する。

めあて  
調べた事実をもとに学習問題1の答えについて話し合おう。

(2) 前時までの学習プリントを見直し、自分の考えと根拠となる事実を確かめる。

2 博多にわか300年以上も続けられてきたわけについて、自分の調べたことをもとに話し合う。

(1) 根拠をもとに自分の考えを発表する。

予想される考えA

博多に伝わる博多弁を使って笑える楽しい芸能だから、人々に親しまれ、大事にされて受け継がれてきたと思います。

誰もが楽しめる

伝承

協力、努力

予想される考えB

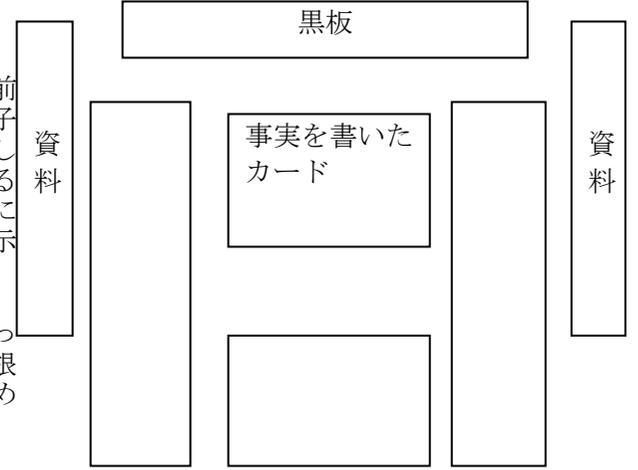
博多にわかを未来に残したいという思いから博多にわか振興会が無形文化財に申請したり、多くの人が協力して、子どもにわか大会等を行う努力をしたりしているから受け継がれてきたと思います。

学習材：博多にわかに関する掲示物と写真  
学習プリントと事実を書いたカード

場：自分の考えを正確に伝える場

○資料・・・事実を書いたカードを事前に準備しておくことで、子どもの考えを黒板で整理しやすくする。発表に使える資料として、博多にわかに関する掲示物や写真を掲示しておく。

○活動・・・事実を書いたカードを使って発表し、掲示物などの根拠をもとに話し合いを進めていく。



※ 根拠となる事実を書いたカードを使って発表するようにする。

(2) 話し合ったことの共通点や差異点から、話し合いをまとめる。

博多にわかには、人々に親しまれた楽しい芸能であった。みんなが楽しむことができるように、振興会をつくって博多にわかを広めたり、祭りの舞台で博多にわかをして、人々を楽しませたりしてきたから、今も受け継がれているんだ。

3 今日学習を振り返り、学習前の自分と学習後の自分を比べて変わったところ、次時のめあてを書く。

○博多にわかには、多くの人の未来に残したいという思いや、努力によって続いていることがわかりました。

6 本時 「学習問題2について考えを比較し、友だちの考えのよさを取り入れる場面」(11/12)

指導者 ○○ ○○ 場 所 4年○組教室

7 本時の目標

- 博多にわかには、特別な人たちの伝統芸能ではなく、自分たちにもできることに気づき、地域に残る伝統芸能を大切にできるようにする。
- 友だちと自分の考えの共通点や差異点を見出し、友達の考えのよさを取り入れて、自分の考えを見直すことができるようにする。

8 本時展開

学習活動と内容 (○内容 ※具体的な支援・留意点)

1 本時のめあてを確認し、前時までの自分の学習したことをふりかえる。

(1) 本時のめあてを確認する。

めあて

学習問題2について話し合い、友だちの考えのよさを取り入れて自分の考えを見直そう。

(2) 前時までの学習プリントを見直し、自分の考えと根拠となる事実を確かめる。

※ 一人ひとりが自分の考えの根拠となる事実を確かめることができるように、これまでの学習の流れの掲示物と使った資料を掲示し、学習プリントと比較できるようにする。

2 博多にわかこれからも続いていくためにはどうしたらよいかについて、自分の調べたことをもとに話し合う。

(1) 代表児の発表を聞き、自分の考えと比較する。

○博多にわかを多くの人に知ってもらうためにイベントを開いたり、宣伝をしたりしたらいいと思う。  
○西鉄グリーンバスでの取り組み  
○九国博での大会

○博多にわかをする人を増やすために、にわか教室を開いて博多にわかを教えていったらいいと思う。  
○博多にわかのかげの敷  
○子どもにわかの様子

共通点：博多にわかを知って欲しいという思い

※ 友達と自分の考えを比較し、考えのよさを取り入れることができるように、「イベントを開いたり、宣伝をしたりすること」と「博多にわかを教えること」に込められた共通の思いを考えさせる。

(2) 博多にわか歴史を振り返り、考えを見直す。

資料 博多にわか歴史

○個人(一人一人)が楽しんできた  
○時期や場所を問わない

山笠やどんたくの様子

○大勢の手で大切にされてきた  
○時期や場所が限定される

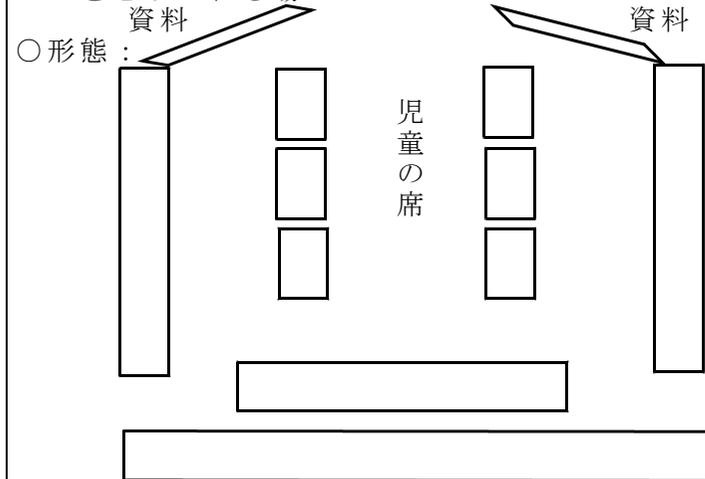
○ 博多にわかをこれからも続けていくためには、宣伝したり、教室を開いて教えたりすることで多くの人に知ってもらうことが大切だ。それとともに、自分自身も博多にわかを楽しんで、大切にしていきたいな。

※ これから博多にわかを楽しんで大切にしようという思いをもたせるために、資料を提示し、「山笠やどんたくはみんなで期間を決めて受け継いでいくもの」「博多にわかには、自分にも場所や時期を問わずに受け継ぐことができるものであること」に気付かせる。

3 今日の学習を振り返り、学習前の自分と学習後の自分を比べて変わったところ、次時のめあてを書く。

学習材：これまでの学習の流れの掲示物と資料  
学習プリントと事実を書いたカード  
博多にわか歴史と山笠やどんたくの参加者

場：自分と友だちの考えを比較し友だちの考えのよさを取り入れる場



○活動：代表児童による発表をもとに考えを比較する。